

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（売場主任）	・婦人服の07年秋冬物のトレンドでは、長らく低迷していたジャケット、スカートが上向き予測があり、客の購買意欲が喚起され、単価が上がる。
		スーパー（企画担当）	・競合店閉鎖による顧客拡大と既存店の回復傾向に加え、新店オープンの効果により、現状よりも売上は伸長する。
		家電量販店（企画担当）	・全般的に家電関係では薄型テレビを中心によく動いており、このまま持続する。また地デジの影響もあり、テレビの買い換えも同時に進行する。
		乗用車販売店（管理担当）	・新型車の発売によって2、3か月は販売増につながる。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・秋口、冬にかけてのコーヒーの需要は伸びてくる。客の様子から、例年以上に来客数が増加し、売上も若干良くなる。
		テーマパーク（職員）	・ゴルフを中心に、温泉、宿泊施設の利用が増える。
	変わらない	商店街（代表者）	・連日のようにスーパー、コンビニエンスストア等のチラシ、広告が入っており、スーパー同士の競争激化で価格破壊が起こっている。商店街は今後も厳しい。
		商店街（代表者）	・商店街の通行量が少なく、今後もこの状況が続く。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・地元の野菜、果物が増えてくるため、販売量が増加する。
		百貨店（営業担当）	・クレジットの取扱い高は伸びており、外商扱いも安定している。また食品は生鮮、ギフトともに好調である。一方、紳士雑貨など趣味への出費が減少しており、店外のサテライト店舗での購入が安定し、本店への来店が予想より伸びていない。今後も同様に推移する。
		百貨店（業務担当）	・原油価格の高騰、各種素材の値上がりにより、商品の価格変更が行われている。今後も消費は低迷する。
		スーパー（店長）	・石油製品の値上がり、飼料の値上がりによる油関係の食品の値上がりが予想される。また米の発育状況が悪く、売上は上がらない。
		スーパー（総務担当）	・食料品の売上は前年並みで推移しているが、衣料品、住居用品が前年を大幅に下回っている。今後もこの状況が続く。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・近くの大型スーパーが改装のため11月まで閉店する。閉店セール等の催事に期待したいが、スーパーの安売りの相乗効果で来客数が増加することはこれまでもなかったため、今回も期待できない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・来客数は増加しているものの、客単価が上昇していない。今後も現状の傾向は継続する。
		家電量販店（店員）	・薄型テレビの売行きが好調であったが、これから新機種が出るため、動きが鈍っている。来年の北京オリンピックを実感できるころにならないと、なかなか需要は出てこない。
		乗用車販売店（販売担当）	・需要を喚起するために様々なイベント等を実施しているが、反応が鈍く、この状況は当分続く。
		住関連専門店（経営者）	・秋口にかけてプライダル家具の動きが出てくるが、キャンペーンの売上がここ数か月落ち込んでおり、先の見通しが悪い。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油のメーカー仕入価格は、値上げの予定はないので、小売価格は高止まりする。また、9月の残暑も厳しいことが予想され、気温高が続くことが予想されるので、燃料油の増販に期待する。
		スナック（経営者）	・以前に比べグループ客が極端に減っており、個人の常連客に頼っている。今後もこの傾向が続く。
その他飲食の動向を把握できる者	・サラリーマンがアフターコーヒーを飲まなくなっており、カフェの状況は大変厳しい。		
観光型ホテル（営業担当）	・宿泊、婚礼共に、ある程度の予約受注はあるが、計画に対しては横ばいの状態である。今後もこの状況は続く。		
都市型ホテル（副支配人）	・予約の状況を見ると、直近の予約のみとなっており、客の動きは鈍い。		
通信会社（管理担当）	・受注案件の見通しが立たない。		
通信会社（業務担当）	・新サービスによる集客増は見込めるものの、価格面ではまだ高価格商品が多く、販売数は横ばいになる。		
観光名所（職員）	・ゴルフ場の予約数は前年を10%程度上回っている。しかし、景気回復によるコンペの増加などの動きではない。		

		ゴルフ場（従業員）	・県外客の入場者数は前年と比べて少しずつ増えているが、地元客が増えないため、総じて変わらない。今後も同様の傾向が続く。	
		設計事務所（所長）	・新規の仕事が少なく、仕事が集まるのに2、3か月掛かるのでやや悪くなる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）		・客の出足が悪く、この先どうなるか不透明である。	
	百貨店（営業担当）		・中心街に空き店舗がますます増える傾向にある。大型量販店、郊外店の影響が強くなっている。	
	スーパー（店長）		・七五三や正月等の季節祭事では、客を近郊の大型店にとられる傾向にある。また1か月後には近隣にスーパーマーケットがオープンするので、更に厳しくなる。	
	スーパー（店長）		・ここ2か月で競合店の出店予定が2件あり、今よりも来客数、買上点数が減少する。	
	スーパー（総務担当）		・原油価格高騰による諸物価の値上げ及び増税に伴う消費者の消費マインドの大幅な低下により、厳しくなる。	
	スーパー（経理担当）		・競合店の出店が相次いでおり厳しくなっている。また、食の安全に対する消費者の目が厳しく、購買意欲が低下する。	
	コンビニ（販売促進担当）		・10月を皮切りに、マヨネーズ油脂、小麦、糖が値上がり、それに併せて包材関係も値上がりし、主力商品である100円前後のパンでは利益幅が少なく、価格を上げざるを得ない。パンに関してはより一層消費が低迷する。	
	衣料品専門店（店長）		・秋冬物の動きが悪く、厳しくなる。	
	乗用車販売店（従業員）		・整備の入場台数が減っており、今後もこの状況が続く。	
	高級レストラン（経営者）		・秋の行楽シーズンの団体の予約が前年と比べて減っており、今後も増える見込みがない。	
	都市型ホテル（総支配人）		・大型のイベント開催予定がなく、限られたビジネス客の獲得競争が予想される。そのような状況で新規競合が出店するため分散される。	
		競輪場（職員）	・前月比での発売額の減少のみならず、前年比でも発売額が大きく減少しており、今後も厳しい状況が続く。	
	悪くなる	-	-	
企業 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	鉄鋼業（経営者）	・今後も自動車関連・半導体・物流センターなどを中心に大型の建築物件が浮上することが決定しており、スケジュールは遅れ気味だが秋口から本格的に着工される。このため、建築資材の需要は大幅に増加し、需給がひっ迫することが懸念される。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後も引き合い物件が続くため、少しは景気が良くなる。	
		通信業	・工事の引き合いや工事発注量が多くなる。	
		不動産業（従業員）	・商業施設の売上がやや上向きとなっている。	
		新聞社（広告）	・年末に向けて大規模出稿の動きもあり、市場が活発になる。	
		その他サービス業〔物 品リース〕（従業員）	・競争の激化、低レート競争など受注環境が厳しいが、引き合いの案件数は増加基調を維持している。	
	変わらない	農林水産業（経営者）		・加工メーカー向けの納品が年末年始用の生産に入るため、大いに期待できる。
		食料品製造業（経営者）		・受注が増加予定であるが、食材高騰など不安な面もある。
		金属製品製造業（企画担当）		・例年どおり生産量が増え、残業も多くなってきている。
		一般機械器具製造業（経営者）		・9月いっぱい受注品の納期対応に追われる状態である。以後について、話は出ているが現在のところあまり芳しくない。
電気機械器具製造業（経営者）			・原材料、エネルギーの節約、コストアップによって経費が増加している。	
輸送用機械器具製造業（営業担当）			・少量多品種の仕事は少しずつ増加しているが、本格的に仕事が入ってくるのは2、3か月先になる。まだまだ景気は良くない。	
建設業（総務担当）			・前年のような受注まで戻るかはわからないが、公共工事は一般競争入札が主になりつつあり、入札参加の機会が増える。競争相手も多く、受注する機会は減少している。	
通信業（職員）			・新規案件は数件増えているが、継続して増加する様子はない。	
金融業（営業担当）			・多くの経営者が原油価格の高騰は今後も続くと考えており、余計な出費は極力避けるという姿勢である。今後も厳しい状況が続く。	

		広告代理店（従業員）	・求人連合広告の新規参入企業があり受注量は増加したが、有効求人倍率がとくに改善したわけではないので、需要が有るのか不明である。
	やや悪くなる	輸送用機械器具製造業（経営者） 輸送業（従業員） 輸送業（総務担当） 金融業（得意先担当）	・人材獲得不足により労務費が上昇しており、受注が控えられる傾向にある。 ・盆休み明け以降の荷動きが極端に悪い。また、軽油価格が更に上昇するおそれもあり、先行きやや悪くなる。 ・衣料品や食品の荷動きが悪く、この状態はしばらく続く。 ・公共工事の大幅な減少や診療報酬の単価の削減等、取引先の今後の見通しがかなり悪い。
	悪くなる	建設業（従業員） 広告代理店（従業員）	・見積案件が少なく、企業の設備投資や民間の住宅着工も低調である。また、原油価格の高騰による原材料の高騰や中国のオリンピックに向けての動きによる材料等の不足などが懸念される。 ・インターネット広告の普及により、広告媒体全体への影響が出ている。
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・7月から求職者の登録数が堅調に伸びており、求人数と求職者数のバランスが改善傾向にある。
	やや良くなる	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・例年、求人件数が増加傾向に入るが、今年の求人数は前年を下回っている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・自動車などの製造業は期待できるが、流通やサービスなどの業界は厳しい状況となっており、総じて景気は良くも悪くもならず現状のまま推移する。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は、自動車関連製造業で増加傾向が見られたが、特定業種での傾向であり、景気が良くなると判断できるほどではない。
		職業安定所（職員）	・4月以降一般求人数は増加傾向にあるが、その内容はパート、派遣請負求人が多くを占めており、求職者の多くが希望する正社員求人に変化は見られない。
	職業安定所（職員）	・大幅な雇用増が見込まれる求人がなく、大きな変化はない。また原油価格高騰の影響が懸念される。	
学校〔大学〕（就職担当者）	・企業の採用意欲の水準は高いが、現行水準を更に上回る材料、または下回る材料は見当たらない。		
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・2、3か月後スタートの受注案件数が少ない。	
悪くなる	-	-	